

クラス	Q305	担当教員	福元 理英
テーマ	子どもの発達を理解と支援、アセスメント、保護者への支援		
著書・論文 研究課題等	<p>&lt;論文&gt; 「小学校低学年児童における人物画知能検査（DAM）の特徴—標準化資料との比較および性差を中心に—」 心理臨床学研究 2013</p> <p>&lt;著書&gt; 「心の発達支援シリーズ3 『小学生 学習が気になる子どもを支える』 編著 明石書店 2016 「モンゴル国における知能検査の開発 子どもに寄り添った発達支援を目指して」 分担執筆 明石書店 2022</p> <p>&lt;研究課題&gt; 学習困難のある児童への学習支援、アセスメント、発達障害児の保護者への支援、ペアレントトレーニング</p>		
<b>ゼミナール概要</b>			
キーワード： 発達 学校 アセスメント 子育て支援			
<p>目的、内容、方法、授業計画等：</p> <p>&lt;学習目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達を理解し、家庭や学校、社会で子どもの育ちをサポートするための基本姿勢を学ぶ</li> <li>・関連文献・論文等の講読とディスカッションを通して、知識を身につけ考察を深める</li> <li>・日常生活のなかで感じたことや疑問点、興味・関心などを他者と共有し、発展的にやり取りをすることを通して、自分自身の研究テーマを設定し取り組んでいく</li> </ul> <p>担当教員は、主に発達障害のある子どもとその保護者への支援に携わってきました。現在は、子ども本人・保護者・教員のニーズやアセスメントの結果を通して、学校や家庭での支援方法を一緒に考えていくことに取り組んでいます。支援の際に必要なのは、その場で情報を整理して相手にことばで伝えること、互いを尊重し協力し合いながら問題に取り組む姿勢とそれを継続する力だと思っています。学生のみなさんにも、こういった姿勢を意識しながらグループディスカッションに取り組んでもらい、子どもや保護者を理解し支援していくための学びをともに深めていきたいと思っています。</p> <p>&lt;授業計画&gt;</p> <p>3年次前期は、関連文献の講読とディスカッションを行います。後期には、卒業研究に関するテーマや問題・目的の検討と併せて、関連する論文を各自で収集し要約する作業を行います。4年次には各自が調査・分析、卒業論文の執筆に取り組んでいきます。ゼミでの発表で積極的に意見交換を行い、それぞれが考察を深めていけるよう指導していきたいと思っています。</p>			
<b>担当教員からのメッセージ</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学時代の学びは、これからの人生の基盤となる力を養ってくれます。積極的に、自分から学びを深めていきましょう。</li> <li>・「ほう・れん・そう（報告・連絡・相談）」が大切です。困った時に必ず相談すること、うまく行った時に報告すること、お知らせ・変更等の事項を連絡すること、を意識してください。</li> <li>・ゼミ活動には学生のみなさんの積極的な協働姿勢を求めます。みんなで一緒にがんばっていきましょう。</li> </ul>			